

# 社会保障の充実と 公平な税制を求める

書記次長  
中宿 稔



独法化が狙われる救急外来もある都立墨東病院

## 消費税増税にコロナ追い討ち 経済と雇用に大打撃

2020年は、新型コロナウイルス感染症（以下新型コロナ）による感染拡大に伴う医療機関への受診抑制、感染時・疑い時の受診やPCR検査体制、非常事態宣言などによって国民生活に大きな不安と混乱をまねきました。

また、2019年10月の消費税10%増税に新型コロナが追い打ちをかけ、日本経済と雇用にも大きな影響を与え、社会保障と税のあり方が国民的にクローズアップされた年となりました。

その様な中、小池都政では、当初から新型コロナの感染者を積極的に受け入れ、感染症指定病院である都立病院などの独立行政法人化を見直しもせず、押しすすめようとしています。独立法人化が招く弊害は、採算の取れない医療体制がなくなることで、公的な医療機関は、採算の取れない感染症などの医療も補う重要な役割を担っています。今

また、9月に発足をした新しい保健所の統廃合が招いたような脆弱な医療体制へと繰り返そうとしています。

また、9月に発足をした新しい保健所の統廃合が招いたような脆弱な医療体制へと繰り返そうとしています。

の増税、そして「自助・自己責任」を強調し、全世代型社会保障改革の推進も継承するとしてきました。

そのなかで、昨年11月に政府の諮問機関である社会保障審議会は、対象病院をがん治療など専門的な外来を持つ200床以上の一般病院にも拡大をし、紹介状なく受診した際に窓口負担とは別に5000円以上に徴収する制度を7000円に引き上げようとしています。

「自助・自己責任」へとすすめていきます。

憲法25条・生存権を守る運動

コロナの終息が見通せない中で、共同通信社の2020年12月の世論調査では、感染防止対策を多くの国民が望んでいる。

「自助・自己責任」へとすすめていきます。

憲法25条・生存権を守る運動

コロナの終息が見通せない中で、共同通信社の2020年12月の世論調査では、感染防止対策を多くの国民が望んでいる。

昨年、都立病院の独法化に反対し、医師・看護師の増員と処遇改善を求める署名運動などをすすめてきました。同時に建設国保を守る運動を、医療保険制度を守る運動として、はがきや請願書や議員への要請行動とともに、地域や共働団体と展開してきました。引き続き、公的な医療制度を守り拡充させる運動とともに、私たちの建設国保の予算確保をすすめていきます。

また、コロナ禍で様々な産業が厳しい状況にある中、多くの失業者が出ています。仕事と雇用を守るためにも、世論調査でも多くの国民が望んでいる経済対策として、消費税率5%引き下げの運動を地域や他団体と連携して進め、大きな世論で社会保障と税など、国民目線の政治に変えていく運動としていきます。

## 危機をのり越え 組織を強く大きくする

書記次長 熊切 健一

組合の役割のポイントとは

### つながりと相談活動



府中国立支部での訪問行動

昨年、誰も経験したことのない新型コロナ禍において、新自由主義的な政策のもと、現代社会が貧困や格差など覆い隠していた矛盾が露わになりました。

た。私たちは仲間間のいのち・仕事・暮らしを守り、誰一人も取り残さない「建設アクション2020」と拡大運動を結び付け、多くの教訓を引き出してきました。機関会議や諸課題の取り組みの自粛もありましたが、コロナ禍で「何ができるのか」を話し合い、人数制限や時短等、工夫し徐々に運動を再開していきます。

コロナ関連相談では、全都



「倍拡大だ」をスローガンに秋の月間目標を一番で達成した目黒支部の仲間

一方件を超える対応となり、あらためて組合が仲間の相談の拠り所となっていることが

証明されました。そして全支部が仲間の窮状を解決しようとする自治体要請に取り組み、新たな制度も勝ち取ることに経験などが一層の組合への信頼を高めています。

組合の役割である「仲間のつながりと相談活動」は不変であり、あらためてコロナ禍でなぜ拡大運動をするのか明確になった1年でした。昨年の奮闘を基礎に拡大運動の前進を目指します。

拡大運動の前進をめざす課題では、情報共有をしっかりと行ないます。群の皆さんは仲間がどの丁場や現場で働いているか知っている場合が多くあり、この情報を分会、支部などに寄せてもらうことが重要です。群や分会が仲間の実態を知り、その要求を課題別に合わせた呼びかけは、仲間の活躍する出番づくりにつながります。支部や本部はこの情報をもとに運動にいかします。

拡大運動の前進をめざす課題では、情報共有をしっかりと行ないます。群の皆さんは仲間がどの丁場や現場で働いているか知っている場合が多くあり、この情報を分会、支部などに寄せてもらうことが重要です。群や分会が仲間の実態を知り、その要求を課題別に合わせた呼びかけは、仲間の活躍する出番づくりにつながります。支部や本部はこの情報をもとに運動にいかします。

拡大運動の前進をめざす課題では、情報共有をしっかりと行ないます。群の皆さんは仲間がどの丁場や現場で働いているか知っている場合が多くあり、この情報を分会、支部などに寄せてもらうことが重要です。群や分会が仲間の実態を知り、その要求を課題別に合わせた呼びかけは、仲間の活躍する出番づくりにつながります。支部や本部はこの情報をもとに運動にいかします。

## 人づくりを通して 運動参加につなげていく

建設産業の民主化の前進には、建設産業従事者の多数派の形成は避けられず、地域や建設産業での労働協約を展望し、まずは組織内で個別的な労働協約（確認書）の締結を蓄積しながら雇用の安定化をめざします。

安定化をめざします。分会・群の働き掛けにより、労使双方で人づくりが出来る事業所（現場・職場・地域での活動参加）をめざしていきま

安定化をめざします。分会・群の働き掛けにより、労使双方で人づくりが出来る事業所（現場・職場・地域での活動参加）をめざしていきま